

「言語文化」シラバス

学科	ビジネスクリエーション科	学年	1 年	類型		組	5 組	単位数	2
使用教科書	新 言語文化 改訂版（三省堂）								
副教材等	なし								

1 学習の到達目標

① 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けさせるとともに、我が国の言語や文化に対する理解を深める。
② 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできるようにする。
③ 読書に親しむ態度や、言語感覚を磨くとともに、我が国の言語文化の担い手として自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習評価

次の三つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとまりごとに、下記の評価項目により評価をする。学年末において、観点別評価を5段階の評定に総括する。

知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めているか。	(1)(2)(3)(4) (5)(6)(7)
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができているか。	(1)(2)(3)(4) (5)(6)(7)
主体的に学習に取り組む態度	読書に親しむ態度や、言語感覚を磨くとともに、我が国の言語文化の担い手として自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付けているか。	(1)(2)(3)(4)
評価方法	主な評価項目	
学習状況の観察	発問に対する回答内容(1)、グループワーク等での対話への取組(2)	
課題の提出	ワークシート(3)、プリント等の提出内容(4)	
ノート・訂正ノート提出	定期考査ごとの提出(5)	
ペーパーテスト	定期考査(6)、小テスト(7)	

3 学習の計画

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	評価項目
一 学 期	魔法を知る	・ 文章に表れたものの見方・考え方を捉える。	(3)(4)
	古文の世界へ 児のそら寝	・ それぞれの文章のリズムや調子の違いを感じ取る。 ・ 歴史的仮名遣いについて理解し、説話の面白さを読み取る。	(2)(3) (4)
	漢文の世界へ 借虎威 蛇足	・ 漢文の特色を知り、訓読の決まりを理解するとともに、漢文の読解に慣れ親しむ。	(3)(4)
	随想に表す・俳句五句	・ 素材の良さや味わいを生かし、調べたことや考えたことを随想に表す。	(2)(3) (4)
	ゴール	・ 登場人物の言動から、人物像を捉える。	(2)(3) (4)
二 学 期	鶏口牛後	・ 登場人物の発言や行動の意図を考える。	(3)(4)
	羅生門	・ 極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り主題を考える。	(2)(3) (4)
	絵仏師良秀 筒井筒	・ 作品に表れているものの見方、考え方を捉え解釈する。 ・ 歌物語に描かれている内容を、叙述をもとに的確に捉える。	(2)(3) (4)
	待ち伏せ	・ 心情の変化を読み取り、細かい表現に注意して話の展開を捉える。	(3)(4)
	鶏鳴狗盗	・ 人物の言動を整理し、人物の特徴や心情を読み取る。	(2)(3) (4)
	短歌七首 和歌十首	・ 短歌独自の特徴と表現効果を理解し、情景や心情を読み取る。 ・ 詩歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取る。	(3)(4) (3)(4)
三 学 期	なめとこ山の熊	・ 小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・ 会話や行動の描写に注目して、登場人物の心情とその変化を読み取る。	(2)(3) (4)
	静夜思・月夜	・ 漢詩のきまりを理解し、古代の中国の人々の思いを読み取ったり、観賞したりする。	(3)(4)
	論語八章	・ 孔子の学問・人間・政治に対する考えを知り、孔子の思想に興味を持つとともに、ものの見方や考え方を豊かにする。	(2)(3) (4)

備考